

審議会等の会議結果報告書

課所名

駅前交流テラスすわっチャオ

会議名 第1回諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会

開催日時 令和3年11月15日(月) 19時00分～20時30分

開催場所 諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ 会議室4・5

出席者 (出席者)【会長】茅野恒夫氏【副会長】中嶋博美氏【委員】小池玲子氏、宮坂友子氏、清水誠氏、浅井学氏、細井 紗耶香氏、小口 雄策氏、塚西 文香氏
小島教育長、細野教育次長(館長)、片桐企画運営係長、志賀主査
【オブザーバー】草間良子教育委員
(欠席者) なし

(傍聴者) なし

資料 資料1:協議会設置の目的について
資料2:駅前交流テラスすわっチャオ運営状況について

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1.開会挨拶:細野次長(館長)

・ただいまより第1回諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会を開会いたします。

2.委嘱状交付

3.教育長あいさつ:小島教育長

・すわっチャオは本当にセンセーショナルにスタートしまして、1年目は良かったが、コロナの影響を受けて途中とても厳しかった。現在も影響が続いているが、すわっチャオ自身がこの地域とまちづくりをするという大きな課題を抱えている。どうか皆様の知恵を拝借しながら、ますます発展し、この地域を皆さんと一緒に発展させていくことを願って、その方策はないだろうかとご審議いただければありがたい。

4.自己紹介

5.会長、副会長選出 会長:茅野恒夫委員 副会長:中嶋博美委員

会長あいさつ

・すわっチャオの1年目はとても良く、引き続きと期待していたがすぐにコロナの影響を受けた。ただ、幸いなことにクラスターの発生元など色々なことにはならなかった。ひとえに職員の対応の成果だと感謝している。今は安心・安全・信頼が大事だと思う。第6波が来ると言われているので、引き続き、安心・安全を第一に考えながらお願いしたい。

6.協議事項

【定足数の確認】:細野次長(館長)

・運営協議会委員数9名中、出席者9名のため、半数以上の出席により定数に達していることを報告。

【協議事項】

(1) 協議会設置の目的について

○細野次長(館長):

・すわっチャオに期待される役割・使命について「あつまる・つながる・はじまる」がコロナ感染拡大により、「あつまれない、つながれない、はじまらない」という緊急事態が発生した。官民連携で目指している総来場者

数増を達成するための新しい活動形態を模索しなければという課題を突きつけられた。このことを踏まえて、講座や発表の機会を失っている市民の皆様方が、オンライン配信できる仕組みを令和2年度に構築した。「あつまる・つながる・はじまる」のニューノーマルバージョンを模索していく必要がある。特にオンラインを活用した様々な仕掛けを創出していきたい。駅周辺のにぎわい創出、そして諏訪市全体のにぎわい創出へつなげ、地域活性化の拠点として、幅広く利用できる施設として機能していく必要がある。

・最近の事例としてはワーケーションを推進している。経済部管轄だが、諏訪市と観光協会等で東京とオンラインでつなぎ、諏訪市内で仕事と休暇を両立するための課題や可能性を探るといふ事業。

すわっチャオ主催の自主事業を展開してにぎわいを創出するだけでなく、市の他の部署、それから民間団体の方々にこの施設を認知していただいてご利用いただくとともに、立地条件を生かした使用しやすい施設であると言われるような施設運営を行っていくことが重要であると考えている。

2) 駅前交流テラスすわっチャオの運営状況について：片桐係長・志賀主査

○委員

・様々な取り組みをしていて素晴らしいと思う。利用者の反応は？例えば御柱講座はどうだったのか。

○片桐係長

・毎回配信後に、メールとかでご意見をいただいている。楽しく見させてもらっているだとか、ここはこういう説じゃないかとかいろんなご意見がある。市内だけじゃなく市外の方も見ていただいているような状況。

○委員

・緊急就労支援等の相談をしている。就労に結びつくような相談できる場所がない中、ここを使わせていただきとてもありがたかった。子供連れで相談に行ける施設があるっていうのはとても素敵なこと。

○委員

・キッズコーナー(イベント)についてどういった意図で行っているのか。

○片桐係長

・開館当初から、子育て世代の方が、ただ遊ぶ場所だけではなくて親御さん同士で何か話をして相談できる場とか、一緒に何か体験できる内容等の取り組みをしていかなければいけないということで、未就学児のお子さんを抱えている親御さん向けのイベントを行っている。

○細野次長(館長)

・諏訪市には児童センター、ふれあいの家、すわっチャオと3つの児童施設がある。これらの施設と調整・連携をしながら、どういうタイミングでどういう講座を、どういう人たちのために行うということはとても大切であり課題であると認識している。

○委員

・児童センターでは色々なイベントを行っているが、スポーツ課や公民館等とも連携をしながら考えていかなければと思っている。同じようなイベントをするよりも色々な場所で、違ったことをするほうが子育て支援にも良いと思っている。横のつながりを大事にしていきたい。

3) 意見交換

○委員

・すわっチャオとは色々コラボ企画をさせていただいている。様々な企画から、行ったことないお店を見てもらう、違う世代の人たちと関わることができるなど、商店街とつながっていけるのはとてもありがたい。

○委員

・市の外部評価委員をやっている。すわっチャオの評価をしたとき、「何で駅前ばかり造るのか。村部の人間には一切関係ない。」という話があった。駅前で気軽に立ち寄れる施設として、ワークショップ等を行いながら開館前から関わってきた。利用したことがない人も気軽に立ち寄り楽しんでもらえて、何かについて語るようなイベントがあればいいと思う。キッズコーナーは外から子供たちが楽しそうに遊んでいる様子が見えるのでとてもいい。子供たちも、大人と接する機会ができ、大人も子供たちの姿に元気をもらえる場所だと感じている。こ

の施設は魅力がたくさんあると思うので色々なイベントを考えていただきたいと思う。

○委員

・コロナということで会議も講習会もほとんどオンラインでやっている。その中で、コワーキングの方もこちらの会場を使わせてもらい、オンライン配信機材等も利用させていただいている。会員交流会も定期的に行っている。大変重宝している。オンライン配信機材の貸し出し等も有効に活用してもらおうよう PR をしていってもらえればと思う。

○委員

・四賀に住んでいるが、ここまで来るのが非常に大変。湖南とか豊田の人も同じで、ここの人たちはあまり利用していないと思う。例えば公共交通機関を考えた場合、バスは土日に運行していない。よほど魅力のあるイベントがないと、わざわざ来ないと思う。それと、茅野市は広報の中に市民館のイベントがまとめて載っていて、広報で一緒に配られるので非常にわかりやすい。インターネットに載っていても、年寄りの人は利用しないので、そちらの検討もしてほしい。また施設予約状況の一覧がズラーツと掲載しているが、「◎」と「×」と「休み」という文字があるが、この印が何を意味しているのか分からないので、その説明を入れてほしい。

○委員

・とても様々な取組をされていて、コロナ渦でも、できることにチャレンジしていると感じた。にぎわい創出のためにとても頑張っていて、感謝している。共同事業は周りを巻き込んだ事業になるので「つながる」という部分ではとても効果的だと感じた。たくさん取り入れてほしい。

○委員

・観光の立場として、自分に課せられた役割は2点であると思っている。にぎわい創出を、諏訪の街中だけではなく、周辺を含めてお客様にいろいろ回っていただくということが大事というのが1点目。2点目は、すわっチャオという素晴らしい建物を造ったが、これから何十年と存続していかないといけない。先ほど 講座説明の中で SDGs の話が出たが、まさしくその SDGs の実践をする場だと思う。存在価値持続可能をどうやっていくのかを、実践していく上で大事なことが出てくる。観光の立場でいくと、外部のお金を持ってくるのが大事なのかなと思う。ワーケーションで外部の方にご利用いただいて、駅につなげていくということが大事。そういった手伝いをさせていただきたいと思っている。東京の企業の方から、すわっチャオは非常に清潔で素晴らしい施設です、ね、というお話を頂いている。Wi-Fi ルーター の貸し出し等も非常に評価が高い。

○委員

・これから児童センターのほうでも今年度の事業の振返りをして、来年度に向けてすわっチャオとも連携をとりながら事業を進めていきたい。

○委員

・高校生は部活等で忙しいが様々なつながりを求めているのも事実。地域のために何とかしたいと考えている生徒もいっぱいいる。自主事業に高校生をどんどん巻き込んでいくような形をとってもらえれば良いと思う。

○委員

・すわっチャオで企画運営も担当している。利用者からは目的もないし行きづらいという話がまだあるので、委員の意見を参考に、今後もすわっチャオを利用していただけるような企画をしたい。

○細野次長(館長)

・貴重なご意見本当にありがとうございます。各委員からごもつともな提案を頂いた。1 つ目は市内の村部の方々の利用。バスの運行は大きな課題。2 つ目としてイベントの内容のわかりにくさはすわっチャオに限らず市として課題。特にすわっチャオはイベントや自主事業を多く行っているのも、とても大事であると思っている。それから施設の予約状況。これはご利用いただく皆様にとって最新の状況を常に閲覧できるのはとても大切なことだと思う。参考にさせていただきたい。高校生とのコラボは、今後も続けていきたい。地域の皆様方との連携も大事だと認識している。

○草間教育委員

・コロナの影響もあってオンラインやリアルイベント等あったが、オンラインはコロナ対策だけでなく、国の方針でもあり、関心を持ってもらう方法の1つ。リアルな事業とともに今後も続いていこうと思う。

8.閉会

○副会長

・活発なご意見をいただき、とても勉強になり参考になった。自分の会社では写真コンテストをやっている。すわっチャオでもやったら面白いかなと思う。豊田や湖南等の遠い方も来館してくれるようなイベントをやれば良いと感じる。